



5月の風に、こいのぼり

園長 足立 祐子

風薫る5月です。各学級では様々なこいのぼりが出来てきて、保育室内でも元気に泳いでいます。校庭のこいのぼりも風に乗って楽しそうに泳ぐ姿が見られます。良い季節になりましたね。

「こいのぼりの製作」

3歳児ゆき組は、初めての個人製作です。うろこのシールや目のシールを貼って作りました。持って動くことが楽しく、砂場にも、お手洗いにでも持っていこうとしています。持ち帰るまでに、汚れたり切れたりしてしまうかもしれませんが、幼稚園で物を作るということは、ただ飾るためではなく「使って遊ぶ」ことに意味があります。ですから、よれよれのこいのぼりでも「いっぱい遊んだのね!」「素敵なものが出来たのね」と声をかけていただければと思います。

4歳児はな組は、3歳児の時に比べたらかなり技能も向上しました。はさみで尻尾の部分を切り、うろこのりにつけます。のりを丁寧につけることが指導の一つのポイントです。そのあと目を重ねて貼ったり、吹き流しをつけたりして、かなり本物らしくなりました。扱いも丁寧になってきて、そとしまう様子も見られ、そこも成長の姿だと感じます。

5歳児つき組は、初めての共同製作です。グループの友達と相談すること、協力することが指導のねらいになります。こいのぼりの色をみんなで選び、うろこの模様を考えました。目も型紙を使って様々な大きさの円を切り重ねて貼るなど、難しいことにも一生懸命取り組んでいました。「お花こいのぼり」「ハートこいのぼり」「赤ちゃんホッケーこいのぼり」というネーミングです。出来上がることも楽しみですが、その経過も興味深いものがあります。

友達との協同的な活動は、今後、意図的に取り入れていきます。最初は上手くいかないことも多く、「一緒にやりたくない」「自分の考えを聞いてくれない」などの葛藤もあると思いますが、積み重ねていくことで成長しますので、見守っていただけたらと思います。

「自然・科学の芽」

4, 5歳児の誕生会の機会に、今年度は「園長博士の自然のお話」をしていきます。季節感の薄れる現代でも、園庭の植え込みやプランターには季節に応じてたくさんの虫たちが生息しています。理科離れが進んでいると言われるこの時代、いちばん身近に出会える自然が、「虫や植物」でもあります。お家の方が「気持ち悪い」「触っちゃダメ」と言わない限り子どもたちは自然に目を向け、こわごわ手をのぼすものです。どの虫が危険で、どの虫が危険でないかということも経験で学んでいきます。今年度は虫ばかりでなく身近な動物や植物、天体なども交え、様々なものに興味をもつきっかけを作っていきたいと思います。

